

社会資本整備総合交付金チェックシート

(事前評価)

計画の名称: 鎌ヶ谷市における下水道の普及による快適な暮らしの環境づくり 事業主体名: 鎌ヶ谷市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性 東京湾及び利根川流域別下水道整備総合計画・全県域汚水適正処理構想・鎌ヶ谷市公共下水道全体計画及び鎌ヶ谷市後期基本計画との整合が図られたものである。	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性) 公用水域(手賀沼、印旛沼、東京湾)の水質保全のため、下水道事業計画区域内の未普及地域の整備を進めていく。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性 定量的指標(下水道普及率)は、鎌ヶ谷市後期基本計画に整合したものとなっている。	○
2) 定量的指標の明瞭性 定量的指標に下水道普及率の増加(H27末61.6%からH32末68.0%)を数値として用いた事で、住民にわかりやすいものとなっている。	○
3) 目標と事業内容の整合性 目標とする下水道普及率を達成に必要な整備計画として、計画期間内に52haを整備を行うものとなっている。	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 下水道の普及により、河川水路等への汚水流入が軽減される事で、水質が改善され、住環境の改善に繋がる。	○
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境 (事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性) 事業執行に当り工事着手前に地域住民への説明会を開催して、事業実施の確実性と併せて要望等を踏まえた合意形成を図っている。	○
2) 地元の機運 (住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 市の関連事業や民間事業との施工調整を図り、下水道整備と併せた事業効果の向上に努めている。	○